

V. 資料（調査票）

ち い き ふ く し か ん し み ん い し き ち ょ う さ
地域福祉に関する市民意識調査
き ょ う り ょ く
～ご協 力 の お 願 い～

平葉は、泉佐野市の福祉行政にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。
さて、本市では、「住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らして暮らけることができるまちづくり」をめざして、「地域福祉計画」の策定を予定しています。この計画は、市民・行政・福祉事業者などが、相互に助け合い支え合うしくみを共に考えて進めていきます。このたび市民の皆様の声をお聴きし、よりよい計画にするためにアンケート調査を行うことにいたしました。

このアンケートは、市内にお住まいの18歳以上の3,000人の方々を無作為に選び、調査票をお送りしています。お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成16年9月

泉佐野市長 新田谷 修司

ご記入にあたってのお願い

- このアンケート調査は個人を対象にしていますので、本人による記入が困難な場合を除き、封筒あて名の方がご自身でご記入ください。あて名ご本人以外の方が記入される場合は、その方のお立場でご記入ください。
- 回答は簡1から順に、質問ごとに用意してある回答の中から、あなたのお考えにあてはまる番号または項目に○をつけてください。また「その他」に○をつけた場合は、() 内に具体的に記入してください。
- 記入後は同封の返信用封筒に入れて封をし、名前を書かず、10月10日(日)までに郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。
- このアンケート調査は、結果をすべて統計数字として処理するため、ご協力いただいた方にご迷惑がかかることは一切ございません。
- アンケートの調査票は、この目的以外には使用いたしません。

◎このアンケート調査についてのお問い合わせ
泉佐野市健康福祉部生活福祉課 担当 松下・泉尾
電 話 0724-63-1212(内線2171・217)
FAX 0724-62-1070
Eメール seihuku@city.izumisano.osaka.jp

ち い き ふ く し か ん し み ん い し き ち ょ う さ
地域福祉に関する市民意識調査

あなたご自身についておたずねします。

問1 あなたの性別は。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

1. 18～29歳 4. 50～59歳
2. 30～39歳 5. 60～69歳
3. 40～49歳 6. 70歳以上

問3 あなたは結婚(事実婚含む)されていますか。(○は1つ)

1. 既婚(配偶者あり)
2. 既婚(配偶者と離別・死別)
3. 未婚

問4 あなたのお仕事は次のどれにあたりますか。また、お仕事の場所はどちらですか。(○は1つ)

1. 勤め人(週40時間程度以上働くフルタイム) → 1. 市内 2. 市外
2. 勤め人(パート・アルバイトなど) → 1. 市内 2. 市外
3. 自営業、家族従業員、個人事業主 → 1. 市内 2. 市外
4. 家事専業
5. 無職
6. 学生
7. その他()

問5 あなたのお住まいは次のいずれにあたりますか。(○は1つ)

1. 二戸建て
2. マンションなどの集合住宅
3. 市営・府営・公団などの公営住宅
4. 雑居・管営・寮
5. その他()

問6 お住まいの地域はどこですか。小学校区でお答えください。わからない方は断名をお書きください。(Oは1つ)

1. 第一小学校区	8. 長瀬小学校区 (長瀬地区)
2. 第二小学校区	9. 長瀬小学校区 (南中地区)
3. 第三小学校区	10. 上之郷小学校区
4. 白新小学校区	11. 大木小学校区
5. 花新小学校区	12. 佐野台小学校区
6. 長坂小学校区	13. 末広小学校区
7. 白根野小学校区	14. 中栗小学校区
	15. わからない (町)

※長瀬小学校区の芳は地区福祉委員会 (8ページに説明文あり) が2つに分かれています。地区別にご答えてください。

問7 家族構成は次のどれですか。(Oは1つ)

1. ひとり暮らし世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. 親・子の二世帯世帯
4. 親・子・孫の三世帯世帯
5. その他 (具体的に)

問8 あなたは、現在の地域に住んでいますか。(Oは1つ)

※ここでの「地域」とはおおむね徒歩15分程度の小学校区の範囲をさしています。この調査票でお書きする「地域」についても同様にお考えください。

1. 生まれてからずっと	4. 5～10年未満
2. 1年未満	5. 10～20年未満
3. 1～5年未満	6. 20年以上

問9 あなたは、今後も現在の地域に住みつづけたいと想いますか。(Oは1つ)

1. 思う	
2. 思わない	⇒ 理由 ()
3. どちらともいえない	

地域における人間関係や暮らしやすさについておたずねします。

問10 ご近所の人との関係は、次のどれに近いですか。(Oは1つ)

1. 近所にお互いの家を訪問しあう人がいる
2. 会えば親しく話をする人がいる
3. あいさつ程度
4. ほとんど顔も知らない
5. その他 (具体的に)

問11 あなたはお住まいの地域について、どの程度満足されていますか。(Oは各項目1つ)

	満足 足る	やや 満足	普通 通り	やや 不満	不満 多い
①近所とのつきあい	1	2	3	4	5
②近隣の生活マナー	1	2	3	4	5
③町会や自治会の活動	1	2	3	4	5
④病院など医療関係施設	1	2	3	4	5
⑤買い場などの利便さ	1	2	3	4	5
⑥公民館活動など	1	2	3	4	5

問12 地域の子どもたちに、声をかけたり・見守ったりすることがありますか。(Oは1つ)

1. よくしている	3. あまりしていない
2. 時々している	4. 全くしない (問12-1へ)

問12-1 「全くしない理由」は何か。(Oはいくつでも)

1. はずかしいから
2. おせっかいになるような気がするから
3. どのように接していいかわからないから
4. 忙しいから
5. 面倒だから
6. 子どもを叱ることがない
7. その他 (具体的に)
8. 特に理由はない

問13 ご近所とおつきあいの中で、支援を必要とする人がいれば協力したい、または、あなたが自身が協力してほしいことはありますか。(○は各項目いくつでも)

	全 体 協 力 し た い	全 体 協 力 し て ほ し い	ど ち ら も あ ま り 思 わ な い
①話し相手になる	1	2	3
②買い物や近くまでの外出に一緒に行く	1	2	3
③子どもを預かったり、お誕生日の祝いなどをやる	1	2	3
④ひとり暮らしや家の人が留守のときのお年寄りの見守りなどをする	1	2	3
⑤簡単な家の修理や掃除、庭の草刈などを手伝う	1	2	3
⑥病気など緊急時に看病をしたり、怪我を訴ふなどの協力をする	1	2	3

日常生活の困りごとや不安についておたずねします。

問14 あなたは健康や福祉などに関すること、現在困っていることや不安に感じていることがありますか。(○はい/×いいえ)

1. 親などの介護

2. 自分が介護を受けること、受けるようになること

3. 高齢者が地域で生活していけること

4. 障害者が地域で生活していけること

5. 福祉や介護サービスの費用の負担が大きいこと

6. 自分や家族の病状や健康のこと

7. 自分や家族のストレスなど心の健康のこと

8. 休日や夜間の救急医療体制が十分でないこと

9. かかりつけ医がないこと

10. 子どものしつけや教育など子育てのこと

11. 地域で事件がおきたり、安全でないと感じること

12. 地震や火事など災害がおこったときのこと

13. 住居の不安なこと、災害の不安なこと

14. その他(具体的に)

15. 特にない

問15 あなたは健康や福祉などで困ったときに、だれに(どこに)相談しますか。(○はい/×いいえ)

1. 家族・親族

2. 近所の人

3. 友人

4. 民生委員・児童委員

5. 町会・自治会・地区福祉委員会

6. ホームヘルパー

7. 医師・薬剤師

8. 保健師・看護師

9. ケアマネージャー

10. 在宅介護支援センター

11. 市役所の窓口

12. 保健所や子ども家庭センターなどの専門機関

13. 社会福祉協議会

14. その他(具体的に)

15. 相談する人がいない

※在宅介護支援センターとは、在宅の要介護高齢者およびその家族などに対し、在宅介護に関する総合的な相談・アドバイス、在宅での介護に必要な各種の保健・福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡・調整を行い、地域の要介護高齢者およびその家族の福祉の向上を図ることを目的として設置されています。

問16 あなたは困っている人を助けたとき、どのように行動しますか。(○はい/×いいえ)

1. 積極的に助けるようにしている

2. 求められたら助けるようにしている

3. 心がけているが、機会がない

4. 助けない(問16-1へ)

5. その他(具体的に)

問16-1 助けない理由は何ですか。(○はい/×いいえ)

1. はずかしいから

2. おせっかいになるような気がするから

3. どのような状況かわからないから

4. 面倒だから

5. その他(具体的に)

6. 特に理由はない

行政サービスの利用についておたずねします。

問17 あなたは次の京佐野市のサービスを利用したことがありますか。(○は各項目1つ)

	あ り ま す	し た こ と が あ り ま す	し た こ と が あ り ま す	し た こ と が あ り ま す
①コミュニティバス		1	2	3
②生涯学習センター、公民館、女性センターの各種講座		1	2	3
③大層文化センター※の相談事業		1	2	3
④大層文化センターの各種講座		1	2	3
⑤家庭児童相談室、子どもフリーダイヤル		1	2	3
⑥市民相談、法律相談		1	2	3
⑦健康診査・各種検診		1	2	3
⑧健康相談		1	2	3
⑨健康づくりの講座		1	2	3
⑩体育館のスポーツ教室		1	2	3
⑪社会福祉協議会のボランティア講座		1	2	3
⑫社会福祉協議会の心配ことなどの相談		1	2	3

※大層文化センターは、地域福祉の向上と大層啓蒙のための市民交流の拠点となる地域に密着した施設です。大層総合センター・健康、自立支援センター・健康、生涯学習センター・健康、地域交流センター・健康の4機能が整備されています。

問18 あなたは行政や福祉サービスなどの情報をどのように入手しますか。(○はいくつでも)

1. 府や市の広報紙	6. 市役所の窓口
2. 新聞・雑誌・テレビ	7. 友人・知人
3. ケーブルテレビ (チャンネル9)	8. 地域の掲示板
4. インターネットによる府や市のホームページ	9. 町会・自治会の回覧版
5. 公共施設 (公民館など)	10. その他 ()

福祉についておたずねします。

問19 親戚、知人からの支援が必要なたちが、十分な福祉サービスを受けていると思いますか。(○は1つ)

1. 十分なサービスを受けていると思う
2. ある程度は満足できるサービスを受けていると思う
3. 十分なサービスを受けていないと思う
4. わからない

問20 子育てや高齢者・障害者の介護などに関する福祉サービスを安心して利用できるようにするために、どのようなことを充実させていくことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. サービスの種類や内容、利用方法などの情報提供
2. サービスに関する相談や苦情の窓口
3. よりよいサービスを提供するための、サービス従事者への研修
4. 利用者の入居を助けるための、サービス従事者への講習会・研修
5. サービスの利用や内容について、第三者が評価する仕組み
6. 利用者の経済的負担の軽減
7. サービスを提供する事業所や施設
8. サービスを担う人材の育成
9. 住民による福祉ボランティア活動
10. その他 (具体的に)

問21 福祉サービスを充実させることと、その財源となる税金などの負担について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 税金などの負担が増えなくても十分に福祉サービスを充実させるべきだ
2. 福祉サービスは充実させるべきだと思うが、税金などの負担が十分に重くなるのは嫌だ
3. 十分に福祉サービスを充実させる必要はない
4. その他 (具体的に)

地域における活動についておたずねします。

問22 あなたは、地域の活動や各種ボランティア活動に参加したことがありますか。
(現在と今後、○は各項目に1つずつ)

	現在の活動状況				今後の参加意向	
	活動している	現在、活動していないが以前活動していた	活動をしたことがない	知らない	そのような活動をあてはまらない	活動目的に活動している
①町会・自治会	1	2	3	4	5	1 2 3
②地区会・学区クラブ	1	2	3	4	5	1 2 3
③婦人会・安楽会	1	2	3	4	5	1 2 3
④子ども会・育成会	1	2	3	4	5	1 2 3
⑤青年団の活動	1	2	3	4	5	1 2 3
⑥地区福祉委員会(地域ネットワーク)活動	1	2	3	4	5	1 2 3
⑦生涯学習センター、公民館などのクラブ活動	1	2	3	4	5	1 2 3
⑧子育てサークルなど子育てに関する活動	1	2	3	4	5	1 2 3
⑨健康増進(若)のボランティア活動	1	2	3	4	5	1 2 3
⑩高齢者福祉のボランティア活動	1	2	3	4	5	1 2 3
⑪環境に関する活動	1	2	3	4	5	1 2 3
⑫国際交流に関する活動	1	2	3	4	5	1 2 3
⑬健康増進の活動	1	2	3	4	5	1 2 3

※地区福祉委員会(地域ネットワーク)活動とは、福祉や保健にかかわる人と住民が手を結び、ひとりで暮らし高齢者、障害者、父子・母子家庭などの支援を必要としている人たちの受え合う活動のことです。

問22-1 参加したくない理由は何か。(○はいくつでも)

問22-2 参加したくない理由は何か。(○はいくつでも)

1. 時間がないから	2. 健康や体力に自信がないから
3. 収入が得られないから	4. 機会がないから
5. 一緒に活動する仲間がないから	6. 知識や技術がないから
7. 他人のことに関わりたくないから	8. その他(具体的に)
9. 特に理由はない	

問23 福祉に関わるボランティア活動や受え合い活動への参加や利用を活性化するために、どのようなことが必要だと感じますか。(○は3つまで)

1. 活動のPR、情報交換や相談窓口を充実する	2. 学校などでのボランティア教育や体験活動を促進する
3. 市が、ボランティア講座を聞くなど、育成体制を整える	4. 交通費などの実費が支給されるなどの金銭支援を充実する
5. 法人格の取得支援など、ボランティア組織の定型的な運営を支援する	6. ボランティアが集える場所や備品などが利用できる体制を整備する
7. ボランティアに対する社会的な評価を高める	8. 就労者が参加できるように勤務時間を短縮したり、ボランティア休暇などがとれるように企業が協賛体制をつくる
9. その他(具体的に)	10. 特に必要はない

「社会福祉協議会についておたずねします。」

問24 「東佐野市社会福祉協議会」をご存知ですか。(○は1つ)

1. 活動に参加している
2. 参加していないが、おおむね活動内容は知っている
3. 名前は聞いたことがあるが、活動は知らない
4. 名前も活動も知らない

問25 「東佐野市社会福祉協議会」では、ボランティア講座などの社会福祉に關する講習会や研修会を行っています。参加したいと思いませんか。(○は1つ)

1. ぜひ参加したい
2. できれば参加したい
3. あまり参加したくない
4. 全く参加したくない
5. わからない

問26 今後、社会福祉協議会の活動のひとつである「地区福祉委員会（地域ネットワーク）活動※」で方々を入れたいことがありますか。(○はいくつでも)

1. ひとり暮らしの高齢者の把握
2. 災害時避難時などに、手助けを必要とする人の把握と介助要員の確保
3. 福祉関係の情報の提供
4. 買い物などの日常生活の介助
5. 子どもを預かったり、見守りなど
6. ひとり暮らしや家の人が不在のときの高齢者の見守り
7. 習字班への声かけ活動
8. その他（具体的に)
9. 特にない

※地区福祉委員会（地域ネットワーク）活動については、8ページ参照。

「だれもが暮らしやすいまちにするために必要なことについておたずねします。」

問27 今後、東佐野市ではどのようなことを進めていくことが望ましいと思いませんか。(○は3つまで)

1. 行政の相談窓口を充実する
2. 町会・自治会などを単位とする地域の助け合い支援活動を充実する
3. ボランティア活動を活発にする
4. 高齢者や障害者のための福祉サービスを充実する
5. 人々の福祉や助け合いに対する意識を高める
6. 生涯学習やスポーツ活動などを充実する
7. 世代間のふれあいの機会をつくる
8. 利用・移動しやすい道路・建物・駅などを整備する
9. 災害時に高齢者や障害者などが安全に避難できるような対策をたてる
10. 子どもが安心して遊べる場所や、地域で過ごす場を整える
11. 近所の穴による子育て協力など、地域における子育て支援を充実する
12. 健康づくりや医療体制を充実する
13. その他（具体的に)
14. 特に必要ない

問28 火災・地震などの災害時に、安全なまちとはどのようなまちだと思いますか。(○は3つまで)

1. 住宅や事業所などの建物の倒壊の危険性がない
2. 避難の危険性がない
3. 自主防災組織があり、倒壊家屋からの脱出や避難防止の活動、避難の支援ができています
4. 避難場所がわかりやすく、周知徹底されている
5. 避難場所への道路が安全である
6. 緊急情報・避難情報が全員に短時間に徹底する
7. 学校や職場などで避難訓練を徹底して行っている
8. 地域で避難訓練を徹底して行っている
9. 各家庭で、避難の方法を話し合い、一人ひとりが常に防災意識をもつようにする
10. 避難場所の設備が整っている
11. その他（具体的に)

問29 あなたは現在、どのようなときに生きがいを感じますか。(○はいくつでも)

1. 仕事をしているとき
2. 学習や教養を高めるための活動をしているとき
3. スポーツや趣味活動(旅行、観劇などを含む)を楽しんでいるとき
4. ボランティア活動をしているとき
5. 老人クラブの活動をしているとき
6. 町会や自治会、子ども会などの地域の活動をしているとき
7. 祭などの地域行事に参加しているとき
8. 買い物をしているとき
9. 家族の世話をしているとき
10. 家族の介護をしているとき
11. 配偶者と一緒にいるとき
12. 子どもや孫と一緒にいるとき
13. 友人や恋人と一緒にいるとき
14. 学校に行っているとき
15. その他(具体的に)

地域活動や福祉についてご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

●記入後は同封の返信用封筒に入れて封をし、名前を書かず、10月10日(日)までに郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。

地域福祉に関する市民意識調査結果報告書

発 行 泉佐野市 健康福祉部 生活福祉課
〒598-8550
大阪府泉佐野市市場東1丁目295-3
電話 0724-63-1212（代）
発行年月 平成17年3月
